



文 英 甚 舛
(日本共産党)

行政の判断で防犯灯を設置しては

要望があれば適宜対応する

議員 防犯灯設置は、

これまで町内会の申請により行ってきたが、必要と思われるところには行政の判断で行うようにしてはどうか。

市長 新たな防犯灯の

設置は、各地域の実情を把握している町内会等からの要望を受けて市が行っています。新規分譲等で町内会が設立されていない地域や、近隣の町内会に所属していない地域から直接要望があった場合も、町内会要望と同じように内容を精査し、状況に応じた対応をとっていきたいと考えています。

議員 町内会連合会は、町内会からの要望によりごみ集積ボックスの設置に補助をしているが、要望数にええきれない。町内会連合会へ

の助成をふやす考えは。

民生部長 町内会連合会

では、今年度は町内会からの新設・更新や修理の申請に全て対応しているとのこと。近年は各町内会からの要望も多くなく、町内会連合会から市への要望もないことから、補助金の増額は考えていません。今後とも町内会連合会と連携しながら町内会活動を支援したいと考えています。



町内会のニーズに対応を

議員

墓は、これまで

は子孫が代々守りつないでいくものだったが、核家族化が進み、子供たちが遠くに離れて住むようになると維持管理が難しくなる。そこで選択肢の一つとなるのが、お参りをする人がいなくても寺などが恒久的に供養し続ける永代供養墓や、共同の墓石の下に遺骨を納める合葬墓である。市が共同墓地を設置してはどうか。

民生部長 市に永代供養

の問い合わせがある場合、それを行っている寺を紹介している状況です。今後は、墓をめぐる社会的な需要の変化に対応するため、共同墓地の設置について、先進地の事例等を参考に、市民の要望等を踏まえながら調査研究を進めていききたいと考えています。

市街地循環バスの本格運行は

市民の需要やデータを検証し 早期に実施したい



和 年 慈 久
(市民連合クラブ)

議員 今年度に市街地循環バス実証運行事業を実施したが、本格運行の開始はいつごろか。

企画財政部長 広く市民

に利用してもらえよう、市民の需要やデータを検証し、できるだけ早い時期に本格運行を実施したいと考えています。

議員 本格運行に向け

た課題は何か。

企画財政部長 中心市街地循環バスは、1日平均

の利用人数は約16人でしたが、日曜日や午後4時以降の利用が少ないことが分かりました。十和田湖支所シャトルバスは、1日平均の利用人数が約4人と、全体的に利用が少ない状況でした。運行区間、バス停の設置場所、時刻等を再設定し、徒歩や自転車での移動が困難となる冬期間の運行も含めて、さらに市民の需要を把握する必要があると考えています。

議員 青森県たばこ耕作組合十和田支部跡地周辺を整備して、早期に駐車場として活用する考えは。

市長 市民図書館や保

健センター利用者の駐車場として整備し、利便性の向上につなげたいと考えています。なお、同支部の建物は、平成31年度の新庁舎外構工事のため解体される庁舎西側分庁舎に入居している外郭団体事務局等の一時的な移転先として使用したいと

考えています。このため駐車場の整備は、新庁舎建設事業完了後を予定しています。



駐車場を十分に確保せよ

議員 若葉球技場西側の(仮称)屋内グラウンド建設予定地は、現在、大型バスの駐車場として利用されている。建設中は駐車場をどう確保するのか。

教育部長 平成31年度に

建設工事が始まると、その敷地が駐車場として利用できなくなり、若葉球技場の利用者に不便をかけますので、赤沼字下平の市有地を臨時駐車場として利用することを検討しています。